

令和2年度 事業報告書

社会福祉法人 藤暢会 法人本部

<概要>

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が、国内外の社会、経済に多大なる影響を与えた一年となりました。

岡山県の新型コロナウイルス感染症による患者数も、年度末には、累計で2,693名に上り、病院や高齢者介護施設でのクラスターも県内各地で発生し、地域の医療、社会福祉を支える私たちにとって、感染予防対策の徹底に終始追われた一年と言っても過言ではありません。

特に、昨年10月下旬に発生した勝央町内事業所で発生した感染クラスターは、法人内での感染は無かったものの、特別養護老人ホームあかりにおいては、感染リスク回避と安全確保を優先し、11月7日～16日の間、ショートステイを停止することになり、事業運営にマイナス影響を及ぼしました。

令和2年4月16日に全国対象に発出された緊急事態宣言の前より、法人本部としては、特養あかり、津山クリニック、東和ほほえみ保育園岡山の各拠点と連携し、当時需給がひっ迫していたマスクを含む感染症対策物品の調達をはじめ、職員の県外移動制限等の協力依頼、また、学校休校期間中の幼児、児童を抱える職員の特別有休休暇付与などの職員に対する総合的な支援、対策に取り組みました。

また、コロナ禍においても、高齢者介護、医療、保育という地域社会に不可欠なインフラを支える職員に対し、生活支援及び緊張下でのモチベーションの維持向上を図る為に、理事長の思いを形にした法人独自の慰労金支給も計5回実施しました。

当初の令和2年度事業計画と異なりますが、新型コロナウイルス感染症という社会共通の危機に対し、法人本部として、ご利用者、ご入居者、職員とその家族、取引企業の方々などの利害関係者を守るための後方支援に徹した一年でもあります。

1. 令和2年度重点課題について

(1) 法人本部を中心にした人事戦略（採用・人員配置・労務管理等）の強化

特養あかりに関しては、夜勤専従職員（非常勤）、入浴専門短時間職員（非常勤）等、従来と異なる新たな雇用形態の採用が功を奏し、介護職員の時間外労働の削減、有休消化促進に繋がりました。その副次的な効果として、期中の退職者が大幅に減少（2名のみ）し、コロナ禍の不安定な労働市場の影響を受けること無く、人材の定着による施設

全体の安定運営に繋がりました。

インターネット主体の採用活動も、特に津山クリニックにおいて、採用実績が増加し、ハローワークに頼らない採用戦術の複線化が実現しつつあります。

また、ポストコロナの介護人材獲得難を想定し、ベトナムをはじめとした海外特定技能実習制度の情報入手等も実施しました。

(2) サービス品質の強化支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響による移動制限や三密の回避もあり、サービス品質強化に繋がるプラスアルファの研修については、大半実施することが出来ませんでした。

(各拠点の事業運営上、必須の研修は受講実施) ご利用者の家族や利害関係者を対象にした新たな満足度調査も、コロナ禍で法人外部との交流が制限されることにより、実施するには至りませんでした。

然しながら、コロナの影響下でも、職員個々の資質や意欲を向上できる体系的な研修を企画検討してまいります。

(3) 事務部門の効率化推進

特に、事務部門の負荷が大きいとされる給与計算においては、勤務表、タイムカードの早期回収、集計書式の簡略化、作業手順を見直すことにより、計算処理完了までの期間を大幅に短縮することが実現しました。

加えて、期中に政府の IT 補助金を活用する勤怠管理システム導入を図りましたが、年度内での申請が実現できなかったため、引き続き令和3年度は、職員数が多い特養あかり拠点において、前年度より継続して IT 補助金を活用したシステム導入を検討し、システムによる勤怠管理の大幅な効率化を図ります。

また、社会保険に関する事務も、拠点毎の縦串ではなく、業務毎の横串での担当化を進め、各担当者の業務単位の知識が深化することにより、業務スピードの向上、作業項目における抜け漏れ件数の減少に繋がりました。

2. 経営計画について

勝央町に対し、令和3年度の勝央町高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の情報収集アプローチと地域包括ケアシステムへの参画打診の活動を行いました。中期的な勝央町における特養あかりの最適な貢献に関する提案を行いながら、あかり隣地活用のシナリオ検討も継続して行います。

また、法人所有のバス活用策として、勝央町社会福祉協議会との連携による小矢田地

区を中心とした地域高齢者の買い物支援ツアーを、令和2年度上期に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、止む無く中止を決定しました。

本企画については、コロナ終焉後の実現へ向けて準備を継続します。

3. 法人本部の運営について

新型コロナウイルス感染症拡大により、あかり拠点の事業収入の減少、全拠点での感染予防対策による支出の増加等の影響を受け、前年比で資金収支が悪化しました。

安定した支払資金残高は確保しているものの、効率的な資金確保のために、福祉医療機構の無担保無利息借入の外部資金調達を行いました。

今後も、コロナのみならず、事業を取り巻く環境変化に対し、柔軟な資金計画を立案してまいります。

また、外部交流が制限された一年でしたが、コロナの感染予防対策として各種施策、物品の情報を積極的に入手し、ご利用者の感染時に備える簡易陰圧器、サーモグラフィ型体温計測システム等の調達に繋げることが出来ました。

4. 施設運営

(1) 社会福祉事業区分

① 法人本部拠点区分

ア 本部

② あかり拠点区分

ア 特別養護老人ホームあかり

イ 老人短期入所事業あかり

(2) 公益事業区分

① 津山クリニック拠点

ア 津山クリニック

② 東和ほほえみ保育園岡山拠点

ア 東和ほほえみ保育園岡山

令和2年度 事業報告書

特別養護老人ホーム あかり

<概要>

あかりでは、「入居者、利用者が主役」という基本理念を掲げる中、今年度は入居者様、利用者様及び職員全員への新型コロナウイルス感染防止を最優先に事業運営を行い、コロナ禍においても、入居者様、利用者様が、健康的で日々の生活にご満足いただけるケアの提供に尽力しました。

行事・イベントについても、例年は地域との接点や情報発信を目的に開催していますが、コロナ禍では、様々な工夫や感染防止対策の徹底をした上で、ユニット単位で規模を縮小しての開催となりました。そのため、多方面からのボランティア受け入れなどは中止とし、入居者様、利用者様のご家族や地元地域の皆様方の参加については、参加自粛いただきました。

また、ご家族の面会も、近隣地域や県内外での新型コロナウイルス感染状況を勘案し、面会可能時は、オンライン面会やガラス越しでの面会等、都度切り替えながら実施しました。更に、ご家族様へ毎月入居者様の様子を撮影した写真を送付し、面会が叶わない家族様へも安全な状況や健康状態をお知らせすることで、感謝の言葉を頂戴しました。一方、外部との接点として、地域包括及び各介護事業所との連携も、新型コロナウイルス感染症防止対策を施した上で、可能な範囲で連携推進を図りました。

今後も、社会福祉法人の公益的取り組みの実施再開や、地域の社会福祉に貢献できるような価値ある情報提供等を図りながら、地域包括ケアの醸成を目指して事業活動に取り組めます。

引き続き一日も早いコロナ終息を願いつつ、地域の社会福祉インフラとして、「移らない」「移さない」「持ち込まない」の感染防止対策を徹底した施設運営を行います。

1. 施設事業運営

(1) サービス区分

① 特別養護老人ホーム

高齢により身体または精神上に著しい障害があり、常時介護が必要でかつ居宅での介護が困難な方へ入所サービスを提供しました。また、新規入居者様の受け入れは、新型コロナウイルス感染症防止対策の一環として、施設独自に抗原検査を実施した上で、施設として安心・安全を担保にご入居いただいております。

また、特養並びにショートステイにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、施設内感染が有り得ることを想定し、簡易折畳式ブース（陰圧式）とクリーンパーテーション機を設置しました。この対策は長期的に、多種に渡る感染症拡大を阻止する対策としても有効です。

② ショートステイ

介護予防及び要介護認定を受けている在宅の高齢者に対し、介護者の疾病・冠婚葬祭などの社会的理由、介護疲れによる休養・旅行などの理由で、家庭介護が困難な方を受入れ、介護者の負担軽減を図る本質的な役割を果たしています。

特に、ショートステイについては、昨秋、近隣エリアで新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことにより、入居者様、利用者様や職員の感染リスク回避の為に、開設以来となるサービス利用を11月7日～16日の2週間停止しました。停止期間だけでなく、既存利用者の利用控えにより、介護報酬収入が減少しました。

また、特養のみならず、ショートステイでも利用にあたり、新規利用者並びに2週間先のリピート利用のケースについては、抗原検査を実施した上で、安心・安全を担保に利用いただいています。

なお、今後の感染状況を勘案しますが、現状では、新型コロナウイルス感染防止対策として抗原検査の実施を継続します。

(2) 特養・ショートステイ利用者数

① 特別養護老人ホーム

定員50名	年間延べ利用者数	17,218名	(1日平均47.17名)
	月間平均利用者数	1,434名	(月間平均稼働率94.3%)

② ショートステイ

定員10名	年間延べ利用者数	2,261名	
	月間平均利用者数	188名	(月間平均稼働率61.9%)

③ 入所者の状況

- ・各月末入所者数年間合計数－570名 (月平均47.50名)
- ・各月末入院者数年間合計－19名 (月平均 1.58名)
- ・各月末新規入所者数合計－15名 (月平均 1.25名)
- ・各月末退所者数－16名 (月平均 1.33名)

	月末入居者数	入院者数	新規入居者数	退去者数
4月	47	2	1	3
5月	47	2	1	1
6月	48	2	2	1
7月	47	1	0	1
8月	47	1	1	1
9月	47	2	2	2
10月	49	1	2	0
11月	49	3	1	0
12月	46	3	1	4
1月	48	1	2	0
2月	48	0	1	1
3月	47	1	1	2
計	570人	19人	15人	16人

④ 年齢別・性別の状況（下図—令和3年3月31日現在）

年齢性別	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	計	平均年齢
男性	0	0	1	2	0	5	0	2	10	85.4歳
女性	0	0	0	2	4	9	14	10	39	90.8歳
計	0人	0人	1人	4人	4人	14人	14人	12人	49人	89.8歳

⑤ 令和2年度末 要介護度別の状況（下図）

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数	0人	0人	0人	7人	16人	24人	47人

(3) 利用者サービス

●健康管理

- ① 津山クリニックとあかり双方の看護師が密に連携し健康管理の充実を図りました。
- ② 歯科医師、歯科衛生士による口腔ケア及び口腔ケア指導・研修に注力しました。長期的な効果として、誤嚥性肺炎のリスク軽減に繋がってきております。

また、口腔ケアの充実は、感染予防としての効果もある事を研修で学び、更に新型コロナウイルス感染症予防策としても注力しています。

- ③ 多職種連携しての感染防止対策委員会の開催を重ね、全職員、オールあかり体制で感染症対策に注力した結果、新型コロナウイルスのみならず、インフルエンザ等の他感染症を含め、令和2年度も感染症による感染者はゼロとなりました。

新型コロナウイルス感染症については、国内外で猛威を振るい爆発的に感染者が増え続けていますが、これまで以上に感染予防策の周知徹底に努め、施設入居者様、利用者様の健康と生命を守り、一方、職員の感染リスクを低減させるよう、全職員が力を合わせて、感染予防と手厚いケアの両立に取り組んでおります。

●栄養管理

- ① 入居者様個人の状態と体調を考慮しつつ、津山クリニック医師の指示による療養食指示等を管理栄養士が反映して適切な献立を作成しました。また、調理方法や味付けや盛り付けに最大限配慮した食事提供を行いました。
- ③ 嗜好調査を実施し、その評価分析を用いて、利用者様の要望に合った食事を提供するように心がけました。
- ④ 衛生的な厨房環境の整備を心がけ、食中毒発生のリスクの回避に努めました。
- ⑤ 定期での給食会議並びに厨房ミーティングにて、業務委託先の日清医療食品(株)と食事の形態を密に相談し、入居者、利用者様の食事の内容や栄養の充実に注力しました。

●機能訓練

機能訓練指導員(看護師)により、個人の状態に適した機能回復訓練を実施しました。

●安全管理

- ① 今年度は、年2回の避難誘導、消火訓練を自衛消防において実施しました。昨年10月には施設内外で消防査察が行われましたが、設備の異常や運営への指導等はありませんでした。
- ② 福祉避難場所として、運用方法などの検証を勝央町役場とすり合わせしています。
- ③ 宿直を配置している夜間の防犯、防災体制の強化並びに急変時の連携と夜間の体制の強化を図りました。
- ④ 新型コロナウイルス感染症発生時の取組みとして、BCP(業務継続計画)を作成しました。定期に見直しを行い、いざと言う緊急時のために対応していきます。今後は、水害を含む自然災害発生時を想定したBCP(業務継続計画)も作成します。
- ⑤ 令和3年2月、これまでの取り組み実績が認められ、津山圏域消防組合消防長より、あかり施設長が優良防火管理者表彰を受賞されました。

- ⑥ 職員の安全管理として、県外への私用外出、外泊の場合の届出と自発的な抗原検査の実施に加え、個人（家族）の体調不良等あった場合には、休暇後の出勤時に、施設負担による抗原検査の実施を行い、安心・安全に勤務に就くことができるよう対策を徹底し、感染リスクを抑えました。

（４）行事、会議、各種委員会、レクリエーション、地域交流等、ボランティア行事に関し、下記、全ての開催において新型コロナ感染防止対策を講じ実施しています。

●毎月定例行事（ボランティア行事含む）、会議及び各種委員会等（下図）

４月度～３月度－運営会議／２回、入居判定会議／１回、口腔ケア指導／４回、職員連絡会議、看取り委員会、事故防止委員会、給食会議／１回、理美容／０～２回、レク委員会／１回、嘱託医回診／２回、石井会計月次会計監査各実施等

- ・ ４月度－ 入職式、レク行事「お花見会・お花見弁当会感染防止徹底により施設内実施」、音楽リトミック開催
- ・ ５月度－ すみれ会環境整備、レク行事「春のドライブ実施（対象者、場所、手法は要相談の上実施）」、監事監査、理事会（書面議決）、第１回自衛消防避難訓練実施、消防設備点検実施
- ・ ６月度－ レク行事「各ユニット運動会感染防止徹底の上、実施」、第１回、２回実務者研修施設内感染防止対策の上、実施
- ・ ７月度－ 第３回、４回実務者研修施設内感染防止対策の上、実施、レク行事「各ユニット七夕会感染防止対策の上、実施」、水道定期検査
- ・ ８月度－ 美作市長選及び市議会議員補欠選挙あかり不在者投票実施、レク行事「夏祭り感染防止対策の上、各ユニットにおいて開催」、第５回、６回、７回実務者研修施設内感染防止対策の上、実施
- ・ ９月度－ 第８、９回実務者研修施設内感染防止対策の上、実施、理事会、レク行事「敬老会対象者６名/感染防止対策の上、表彰実施」敬老弁当
- ・ １０月度－ 消防査察実施、レク行事「秋のドライブ感染防止対策の上、対象者、場所、手法は要相談し実施」、岡山県知事選挙あかり不在者投票実施、第１回第三者委員会、すみれ会
- ・ １１月度－レク行事「文化祭作品展示（～１０日）、おやつ喫茶/感染防止対策の上、各ユニット実施」、園芸福祉、理事会
- ・ １２月度－レク行事「各ユニットクリスマス会～２５日感染防止対策の上、実施」、評議員会、第２回自衛消防避難誘導訓練、消防設備点検、すみれ会
- ・ １月度－ レク行事「新年会/感染防止対策の上、各ユニット実施」、おやつ作り
- ・ ２月度－ レク行事「節分祭/感染防止対策の上、各ユニット実施」、入居者百歳祝い

- ・3月度ー レク行事「ひな祭/感染防止対策の上、各ユニット実施」、第2回第三者委員会、評議員会

●職員会議等の実施状況

会議の名称	実施状況	会議の主な議題
・カンファレス・朝礼	毎朝	・入居者。利用者当の状況確認・ショート利用確認・業務、行事報告、連絡事項・情報交換・等
・運営委員会	第1. 3月曜/月	・随時施設の課題、要望、重要事項等の施設の管理運営に関する事
・職員連絡会議	第1月曜/月	・毎月時の報告事項、課題事項の提案、立案等の検討
・リーダー会議	1回/月	・看護、介護、支援相談全般、給食等に関し課題、要望事項等
・感染防止対策委員会/研修	1回/月・4回/年	・感染症等対策を検討、感染症知識のレベルアップ等
・ヒアリハット報告検討会	第1月曜/月	・危険内容の確認、ヒアリハット共有等状況報告、対策立案等
・事故防止検討委員会/研修	第1月曜/月 随時	・各ユニットで検討された事例に基づき、事故防止対策を検討、併せて研修も実施
・褥瘡予防対策委員会	4回/年・随時	・褥瘡予防の対策の検討及び研修
・身体拘束廃止委員会	2回/年・1回/3ヵ月(勉強会)	・身体拘束をゼロにする為には、状況の把握及び勉強会研修
・ケア会議(ご家族参加)	随時	・個別の介護プランの見直し及び今後の介護方針の検討等
・給食会議・厨房会議	第1月曜/月	・行事食、業務改善、献立の検討、入居者の給食について等、委託業者も参加すると同時に厨房でのコミュニケーションを図っている
・栄養ケア会議	第1月曜/月	・入居者の健康状態、栄養状態のモニタリング、スクリーニングを行う
・看取り委員会	4回/年・随時	・看取りの入居者の状態把握、報告や看取りに対する検討、PDCAサイクルの検討等
・レクレーション委員会	1回/月	・毎月各種の行事計画及び行事開催、反省会等
・入居判定会議	1回/月・随時	・現状把握、入居者判定の検討等
・苦情処理委員会	随時	・苦情に対する確認、把握、検討等、再発防止の検討
・第三者委員会	2回/年・随時	・外部委員(評議員、監事、民生・児童員)への報告及び助言
・腰痛予防対策委員会/研修	2回/年	・腰痛対策、介護の手法の検討及び介護ロボットの検討等
・ミールラウンド (摂食維持管理)	1回/月	・誤嚥が認められる人、誤嚥の可能性の大きい人を対象に食事風景を他職種で見て回り、胃瘻、経管栄養になることなく、口から食べていただく検討をする
・入浴委員会 ・排泄/褥瘡委員会 ・口腔ケア委員会 ・虐待防止委員会 ・レクレーション委員会		

(5) 職員待遇及び職員採用・退職の状況（令和3年3月31日現在）

●職員	●常勤数	●非常勤数
嘱託医	1名	
施設長	1名	
事務員	1名	
介護・看護職長	1名	
看護職員	2名	3名
介護長	1名	
介護職員	27名（内介護福祉士23名）	11名（内介護福祉士4名）
介護支援専門員	1名	
生活相談員	1名	
管理栄養士	1名	
歯科衛生士		1名
宿直員		2名
運転員		1名
計	37名	18名

●下図－令和1年末から令和2年度末現在）

	施設長	事務員	生活 相談員	介護 支援 専門員	介護 職員	看護 職員	管理 栄養士	嘱託医	宿直他	合計
令和1年度職員数	1	1	2	1	39	5	1	1	4	55人
採用	0	0	0	0	+3	+1	0	0	0	4人
退職	0	0	0	0	--4	0	0	0	0	--4人
業務異動	0	0	--1	0	+1	0	0	0	0	0人
令和2年度末小計	1人	1人	1人	1人	39人	6人	1人	1人	4人	55人

●定年退職者1名（令和3年度再雇用予定1名）

●実務者研修終了者 2名

●介護福祉士合格者 3名

●健康管理

年2回の健康診断の実施。津山クリニック医師、看護師による健康指導を行いました。

●労務管理

管理者、役職者による定期個別面談を行い、きめ細やかな意思疎通を図りました。

●職員外部研修

(全国老人福祉協議会、全国経営者協議会、岡山県主催、岡山県社会福祉協議会、岡山県看護協会、岡山県介護福祉士会、岡山県ケアマネ協会、各市町村主催、他主催等)
当初に予定されていた研修は、各機関の研修全般がリモートでの研修へ変更されました。また、感染防止の観点から研修中止も多数に及びました。

対象職種	時期	場所	研修者	内容
施設長	R2. 4. 21	津山	有田 卓司	感染症労務セミナー
	R2. 9. 1	勝央		施設感染症対策研修会/県主体
	R3. 2. 19	津山		高齢者施設の新型コロナワクチン接種について
	R3. 3. 11	勝央		勝央町社会法人連絡会
介護支援専門員 (主任) 生活相談員	R2. 8. 18	津山	佐藤 建子	第1回主任ケアマネ委員会
	R3. 1. 23	岡山	佐藤 建子	ケアマネジメントセミナー
	R3. 2. 4	あかり	赤堀 千春	ZOOM-岡山県高齢者虐待防止
看護職	R3. 2. 26	あかり	看護師	WEBセミナー-経管栄養カテーテル
管理栄養士	R2. 9. 1	美作	佐野 治美	給食施設管理者・従事者研修/県主体
	R3. 2. 26	あかり		WEBセミナー-経管栄養カテーテル
介護職員	R2. 12. 5	あかり	介護職員	ZOOM-ユニ・チャーム
	R3. 3. 4	あかり		ZOOM-排泄ケア (ユニ・チャーム)

●施設内職員研修(感染防止対策徹底の下、地域交流及び2階パブリックにおいて開催)

- ① R2, 8, 3 ・身体拘束廃止委員会職員研修/講師 赤堀相談員
- ② R2, 8, 19 ・第1回 虐待防止回答伝達講習/講師 佐藤主任・赤堀相談員
- ③ R2, 8, 20 ・第2回 虐待防止回答伝達講習/講師 佐藤主任・赤堀相談員
- ④ R2, 10, 5 ・身体拘束廃止委員会職員研修/講師 赤堀相談員
- ⑤ R2, 12, 7 ・身体拘束廃止委員会職員研修/講師 赤堀相談員
- ⑥ R3, 2, 5 ・身体拘束廃止委員会職員研修/講師 赤堀相談員
- ⑦ R3, 3, 3 ・第1回 褥瘡予防委員会職員研修/講師 猪子看護師
- ⑧ R3, 3, 10 ・第2回 褥瘡予防委員会職員研修/講師 猪子看護師
- ⑨ R3, 3, 23 ・第1回 コロナワクチン接種についての研修
講師 金時薬局 寺井薬剤師
- ⑩ R3, 3, 25 ・第1回 口腔ケア職員研修/講師 非常勤 飯田歯科衛生士
- ⑪ R3, 3, 23 ・第2回 コロナワクチン接種についての研修

講師 金時薬局 寺井薬剤師

⑫ R3, 3, 30 ・第2回 口腔ケア職員研修／講師 非常勤 飯田歯科衛生士

(6) 施設管理

令和3年3月に経年劣化による2階特殊浴場の修理工事を完了しました。

(7) 実習生受入れについて、岡山県立北部高等技術専門校 ケアサービス科の実習生(2回／年間受入れ)及び美作大学生生活科学部食物学科実習生(1回／年間受入れ)を開催する予定としておりましたが、コロナ禍により開催中止となりました。

(8) 2020年夏のボランティア並びにインターシップ受入れについても、コロナ禍により感染防止対策上、開催は中止となりました。

(9) 新たな取り組みとして

介護職員実務者研修終了課程取得に向け、専門研修機関である(株)ハートスイッチと契約し、あかりを県北部の研修会場として提供しました。地域の介護士の実務者研修取得を応援するために、コロナ禍にもかかわらず、令和2年度も感染防止対策を徹底し、外部の介護士6名、あかり介護職員2名が参加し、無事にあかり介護職員2名も実務者研修修了しました。

(10) 公益活動における地域貢献として

勝央町並びに社会福祉協議会との連携し、法人所有のバス利用による勝央町民への買い物支援活動の実施に着手しかけた折、新型コロナウイルス感染拡大により年度内の実施が延期となりました。但し、今後の新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、早期の実施を検討します。

以上、(8)、(9)、(10)の取り組みや実施については、新型コロナウイルス感染症拡大による自粛や開催中止となりましたが、令和3年度以降は、感染終息を願いつつ、感染状況を確認し、開始計画を立案します。

令和2年度 事業報告書

津山クリニック

<概要>

津山クリニック開設より3年経過しましたが、地元の津山市東一宮地域のみならず、近隣市町村の方々にも幅広く利用いただいております。作州地域密着のクリニックとして、令和2年度も、より多くの患者様に支持をいただくことが出来ました。

地域に深く寄り添う「保健室」のような存在の医療機関となることを基本理念に掲げており、地域の世帯家族全員の永続的なかかりつけ医としての役割を高めつつあります。

また、他の医療機関とも柔軟に連携することで、継続的かつ総合的な医療福祉サービスを提供することが出来ました。

1. 施設事業運営

当クリニックは、東一宮近隣地域の無床診療所にはあまり無い、内科、形成外科、リウマチ科、皮膚科と幅広い診療科を設置していることから、当クリニックが世帯家族全員のかかりつけ医となっている数多くの事例があります。実際の診療において、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の患者様が利用されていることから、基本理念に掲げている、地域社会に寄り添う「保健室」のような存在を具現化しているのではないかと考えます。

リウマチ専門外来が少ない岡山県北部において、津山クリニックはリウマチ専門医が常駐している状況から、リウマチ症状に悩む患者様からは、地元の作州地域で診療を受けることが可能になるため、非常に高い評価を受けています。加えて、地元という近い距離感だからこそ、専門医と患者様の深い信頼関係が構築されています。このような津山クリニックの特長が口コミとなり、令和2年度に関しても、再診患者様の紹介で初診の患者様が多く来院されるという好循環が見られました。今後も、多くの患者様の信頼の証でもある初診数の増加が期待されます。

また、地域に寄り添う理念を掲げているからこそ、患者様の個人情報保護というリスク管理に対して、最大限の配慮を心がけています。令和2年度では実際に、患者様の名前では無く番号札による呼び出し、別室での問診等のプライバシーへの配慮を行いました。

令和2年度は、医療界にとっても最大の関心事である新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Web問診を早期に導入しました。これにより、症状の安定している患者様側は、来院の手間が省かれることになる一方、クリニック側は、処方箋を薬局へ送

付して処方薬の手配のみを主に行うことになり、患者様側、クリニック側共に感染防止のメリットを享受することが出来ました。

また、発熱外来として、発熱外来専用のプレハブ施設をクリニックに併設いたしました。これにより、クリニック屋内での密の状況が回避され、患者様に安心して来院していただける環境を作り出すことが出来ました。患者様の発熱外来での受診時には、コロナ、インフルエンザ両方の検査を受けていただくことで、速やかに検査結果をお伝えすることが出来、コロナ陽性判明時は適宜、該当機関へ紹介できる体制も構築しました。

新たな取り組みとしては、新たにアルツハイマー型認知症を血液検査項目で予測する検査（MC I スクリーニング検査）を導入しました。その検査では、早期に結果が反映されることにより、早い段階で、高リスク結果の場合には、該当専門医の紹介、低リスク結果の場合には、1年に1回の定期健診を促すことが出来ます。実際に、生活習慣病のある方に対しては、そのまま継続して津山クリニックで治療を行うことが出来、別のアプローチから、患者様との関係をより深めることが可能となります。

コロナ禍でも多くの患者様が来院され、前年度から継続して駐車スペースが不足する課題を抱えていましたが、患者様にもご迷惑をお掛けしないように課題の解消に取り組み、結果として、クリニック北側に第二駐車場を設置しました。これに伴い、発熱などの感染症の方を診察するためのスペース、駐車場というハード面の準備が全て整いました。地域の皆様が快適に安全・安心に普段通りの診察を受けられるように今後もハード面、ソフト面ともに改善し続けてます。

2. 施設概要

事業内容	公益事業（診療所の経営）
診療科目	内科・形成外科・リウマチ科・皮膚科
診察時間・曜日	9：00～12：30／月・火・水・金・土曜日 14：30～18：00／月・火・水・金曜日 14：30～17：00／土曜日（第4土曜日は午後休診）
休診日	木・日曜日・祝日
その他	毎週火曜日は18：00～処置のみの予約患者様への対応を継続して実施しています。

3. 職員待遇

*職員数

院長	1名
副院長	1名

医師（非常勤）	1名	
看護師	4名	
臨床検査技師	1名	
事務課長	1名	
事務員	4名	（令和3年3月31日現在）

***健康管理**

全職員に対して年1回の定期健康診断を実施しています。

***労務管理**

労働時間は、1ヶ月単位の変形労働(勤務)時間を採用し、週の所定労働(勤務)時間は1ヶ月を平均して40時間以内としています。なお、1日の所定労働(勤務)時間は8時間もしくは4時間とし、休日は木曜日、日曜日、祭日としています。

管理者による個別面談を定期的に行い、円滑な意思疎通を図りました。

***研修**

地域医療福祉の担い手として、自己研鑽を図るため、可能な範囲で、外部の学会・研修に参加しました。また、日進月歩の医療分野の知識を積極的に吸収し、医療現場に還元するため、院内勉強会を随時開催しました。

令和2年度 医師 参加学会

4月	形成外科学会
8月	皮膚科学会
9月	皮膚科学会
10月	内科学会
12月	リウマチ学会
2月	皮膚科学会

<令和2年度津山クリニック院内勉強会>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年8月より順次院内の患者様待合スペースを利用し開催いたしました。

8月	経口抗真菌剤ネイリンカプセル100mgについて シングリックス筋注用について、帯状疱疹ワクチンシングリックス筋注用を接種される方へについて、帯状疱疹といわれたら・・・、50歳を過ぎたら帯状疱疹の予防接種ができます。について。
----	---

	<p>乾癬ガイドブック、掌蹠膿疱症ハンドブックについて</p> <p>トレムフィア皮下注100mgシリンジについて</p> <p>痒みを伴う皮膚疾患におけるピラスチンの臨床的有用性の検討、アレルギー性疾患治療剤ピラノア錠20mgについて</p>
9月	<p>ベンリスタによる全身性エリテマトーデスの治療を受けられる患者さん・ご家族の方へ、ベンリスタ点滴静注用120・400mg、皮下注200mgオートインジェクター、200mgシリンジについて</p> <p>不眠財治療薬デエビゴ錠2.5、5、10mgについて</p> <p>不眠で悩むあなたに（自分でできる不眠対策）について</p> <p>スーグラ錠の長期投与における有効性と安全性について</p> <p>糖尿病治療剤スーグラ錠25，50mgについて</p> <p>知っておきたい痛風・高尿酸血症の知識</p> <p>改訂ガイドラインが示す、腎障害をもつ高尿酸血症患者の治療</p> <p>痛風患者における尿酸の24時間コントロールの重要性～トピロリックの有用性～</p> <p>尿酸値が高いと言われた人へ、尿酸値が高い方の生活習慣のポイント</p> <p>ヤヌスキナーゼ（JAK）阻害剤リンヴォック錠7.5、15mgについて</p> <p>（中等症から重症の関節リウマチ患者を対象とした）</p>
10月	<p>患者さんの利便性向上を目的としたシンポニー皮下注50mgオートインジェクターについて（1本120千円）</p> <p>爪白癬治療経口薬と外用薬の使い分け、経口抗真菌剤ネイリンカプセル100mg、爪白癬治療剤ルコナック爪外用液5%について</p> <p>ネイリンを服用される患者さんへ～きれいな爪をめざして</p> <p>HIF-PH阻害剤～腎性貧血治療剤～バフセオ錠150，300mgについて</p> <p>デュピクセントを使用される患者さんへ～アトピー性皮膚炎～</p> <p>デュピクセント皮下注300mgペン製造販売承認取得のご案内</p> <p>ヒト型抗人IL-4/13受容体モノクローナル抗体デュピクセント皮下注300mgシリンジについて（在宅自己注射が可能になりました）</p>
11月	<p>どれくらい知っていますか？あなたのアトピーについて。</p> <p>経口血糖降下薬で治療中の2型糖尿病患者さんへ更なる改善を目指して</p> <p>持続性GLP-1受容体作動薬オゼンピック皮下注0.25、0.5、1.0mg SD</p> <p>喘息吸入治療の新たな選択肢</p> <p>3成分配合喘息治療剤エナジア吸入用カプセル中用量・高用量</p> <p>アテキュラ吸入用カプセル低用量・中用量・高用量</p> <p>腎性貧血治療の新たな高みへ</p> <p>HIF-PH阻害薬腎性貧血治療薬（ロキサデュスタット錠）エベロンゾ錠20、50、100mg</p> <p>エベロンゾ錠を服用される患者さんへについて</p> <p>吸入指導ハンドブック、気管支喘息吸入薬剤形一覧</p> <p>エナジアを服薬の方へ はじめてのエナジア～気管支喘息～</p>

	アテキュラを服薬の方へ はじめてのアテキュラ～気管支喘息～ 知っていましたか？「アレルギー性」ぜんそく～適切な対処のために～
1 2月	インスリン レジメン変更マニュアル、インスリン製剤ラインナップ インスリン導入マニュアル、LillyInsulinPocketGuide インスリン グラルギン BS 注ミリオペン BS 注カート「リリー」について 選択的 SGLT 2 阻害剤-2 型糖尿病治療剤 ジャディアンス錠 10、25 mg について 日本初の特発性腋窩多汗症外用剤 エクロックゲル 5% (ソフピロニウム臭化物ゲル)
1月	ミネプロ適正使用ガイド 高カリウム血症関連 選択的ミネラルコルチコイド受容体ブロッカー ミネプロ錠 1.25、2.5、5 mg について 高食塩接種下の降圧治療におけるミネラルコルチコイド受容体 (MR) 抑制の意義 高過活動膀胱 (OAB) 患者の薬物治療 OAB 治療薬 (抗ムスカリン薬・β3 アドレナリン受容体作動薬) を服用されている患者の平均年齢は 74.0 歳でした。 選択的 β3 アドレナリン受容体作動性過活動膀胱治療剤 ベタニス錠 25、50 mg について 過活動膀胱治療剤 (コハク酸ソリフェナシン錠) ベシケア錠、OD 錠 各々 2.5 mg、5 mg
2月	経口糖尿病薬 (SGLT 2 阻害薬、DPP-4 阻害薬関連) 一覧について 2 型糖尿病治療剤 選択的 DPP-4 阻害剤/選択的 SGLT 2 阻害剤配合剤 スージャス配合錠について シタグリプチンリン酸塩水和物/イプラグリフロジン L プロリン配合錠
3月	選択的 DPP-4 阻害剤/糖尿病用剤 ジャヌビア錠 12.5、25、50、100 mg [日本薬局方 シタグリプチンリン酸塩錠] 選択的 SGLT 2 阻害剤～糖尿病治療剤～スーグラ錠 25、50 mg イプラグリフロジン L-プロリン錠 について

4. 患者数の推移

令和2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一日平均(人)	115	128	129	149	158	148
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	154	163	150	149	127	135

医師と職員の良質な医療サービスを提供しようとする姿勢が、地域での口コミによる認知拡大に繋がっているものと思われます。医療・福祉における地域貢献として夜間および休日の診療対応、他医療機関との強力な連携なども要因となり、コロナ禍で患者数が

漸減している医療機関が全国的に見受けられるものの、当クリニックにおいては年度を通じて安定した患者様の確保が実現できたことで、令和2年度についても堅実な経営を行うことができました。

5. 社会福祉法人藤暢会内の連携

特別養護老人ホームあかりでは、月2回の定期回診を継続して行い、入居者様の健康管理維持や看取り介護の実施にも貢献しました。

東和ほほえみ保育園岡山の嘱託医としても、新入園児の健康診断、定期診断等で連携を引き続き図りました。

6. 公益事業活動

毎週火曜日18時以降19時まで通常診療時間を1時間延長し、定期的な処置を必要とする患者様のために対応することで、患者様の来院に関する利便性を高め、負担軽減を図りました。

休日当番医制度を令和2年1月より実施しており、多くの患者様に利用いただくことで、地域医療への更なる貢献が実現できました。

<令和2年度 地域活動実績>

時期	地域活動内容
年度通じて	毎週火曜日の診療時間1時間延長（定期的な処置のみの患者様に対し）
令和2年4月	4月29日 日曜日に休日当番医実施
7月	7月19日 ”
令和3年2月	2月28日 ”

令和3年度については、コロナワクチン接種のサテライト型接種施設として、一人でも多くの方に対し円滑なワクチン接種を行い1日も早いコロナ終息に向けての一助となるよう注力します。また、津山市のワクチン集団接種に対しても、津山クリニック内でスタッフ派遣を募り、人材を積極的に派遣することで、コロナワクチン接種者の一人でも多くの拡大を支援します。

令和2年度 事業報告書

東和ほほえみ保育園岡山

<概要>

企業主導型保育事業3期目として、保育指針に則り、企業(東和薬品株式会社)の従業員及び地域住民の子育てサポートを行うと共に、働きやすい職場環境づくりを支援することを目的として保育事業に取り組みました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業運営にあらゆる制限が加わりました。コロナ感染防止対策から、日々の園児の送迎は玄関までとし、保護者に参加いただく参観日、七夕まつり、運動会等の年間行事を中止せざるを得ませんでした。

そのため、保育園での子どもの様子が見たいという保護者からの要望を多くいただき、令和3年3月にようやく初めての屋外イベント「親子遠足」を感染防止対策した上で行い、コロナ禍で交流が不足する中において、保護者から大変好評いただきました。

また、密を避ける為、毎月の誕生日会や室内の季節行事を園全体で行うことはできませんでしたが、各クラス少人数ながら、工夫して誕生児をお祝いし、季節の行事を楽しみました。恒例行事が中止の一方、ゆったりと日々の保育を行うことができ、保育士が園児一人ひとりとしっかり向かい合うことのできた一年でもありました。

社会福祉法人が運営受託する保育園として、勝央地域の子育て支援にも持続的に貢献するために、余裕活用型一時預かり保育、園庭開放、子育て相談などの施策も実施する年間計画も当初計画にありましたが、在宅の子どもの日頃の体調管理ができないため、定例の園庭開放は開催できず、一時預かり保育も11月以降、実施を見合わせました。地域の子育て家庭の支援は今年度実施できなかったものの、在園児の保護者や当園を知る地域住民からの相談事は随時電話や面談で真摯に対応しました。

1. 施設運営方針

保育理念 「個を大切にし、明るく豊かな心を育てる」

保育方針 「アットホームな雰囲気の中で子どもが安心して元気に成長できる保育を行います」

「一人ひとりの子どもの個性を大切にします」

「家庭との連携を大切にし、子どもの成長を見守ります」

保育目標 「たくましい子」「素直な子」「思いやりのある子」「考える子」

園の特徴 「少ない荷物で家庭にやさしい」「アットホームな雰囲気」

「地域のお子さまも利用可能」「気軽に相談できる」

2. 施設概要

事業内容	企業主導型保育事業
定員	30名（地域枠は定員の50%まで受入れ可能）
受入れ年齢	0歳児（生後6か月）～5歳児
開園日数	週6日（日・祝日は休園、但し東和薬品（株）岡山工場開業日の祝日は開園）
開園時間	基本保育時間 7:30～18:30
提供サービス	延長保育（18:30～19:30） 体調不良児保育 一時預かり保育
その他	園庭開放、子育て相談 等

3. 職員待遇

《 常勤 》

園長 1名 主任 1名 副主任 1名 保育士 7名
 看護師 1名 栄養士 1名 調理師 1名 事務員 1名 計14名

《 非常勤 》

調理師 2名 准看護師 1名 計 3名

4. 園児数推移

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
園児数（名）	21	21	23	23	23	24
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児数（名）	25	26	27	27	28	28

《 年齢・クラスの内訳 》

クラス名	年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ぱんだ組	3歳児（名）	2	2	2	2	2	2
	2歳児（名）	3	3	3	3	3	3
うさぎ組	2歳児（名）	5	5	5	5	5	5
りす組	1歳児（名）	10	10	10	10	10	10
ひよこ組	0歳児（名）	1	1	3	3	3	4
合計（名）		21	21	23	23	23	24

クラス名	年 齢	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ぱんだ組	3歳児 (名)	2	2	2	1	1	1
	2歳児 (名)	3	3	3	3	3	3
うさぎ組	2歳児 (名)	5	5	6	6	6	6
りす組	1歳児 (名)	10	10	10	10	10	10
ひよこ組	0歳児 (名)	5	6	6	7	8	8
合 計 (名)		25	26	27	27	28	28

5. 年間行事

月 日	行 事 内 容	参 加 人 数
5月21日	歯科検診	在園児19名 (欠席者は後日受診)
6月 1日 ～9月 8日	水遊び・感覚遊び	全園児対象 (各クラスで)
7月 7日	七夕まつり	在園児23名 (各クラスで)
8月19日	スイカ割り	2, 3歳児10名参加 0, 1歳児12名は保育室の中か ら見学
10月30日	ハロウィン (屋外)	在園児19名
11月 5日	焼き芋パーティー	2, 3歳児9名参加 0, 1歳児15名は保育室の中か ら見学
12月23日	クリスマス会	在園児27名 (各クラスで)
1月15日	とんど	2, 3歳児10名参加 0, 1歳児17名は保育室の中か ら見学
2月 3日	節分	在園児24名 (各クラスで)
3月 3日	ひなまつり	在園児28名 (各クラスで)
3月19日	親子遠足(ノースビレッジ)	在園児25名 保護者25名
3月22日	内科検診	在園児26名・新入園児1名 欠席者は後日受診

※その他 毎月実施：誕生日会、身体測定、避難訓練

6. 給食

園児の活動の源である給食は、栄養士が作成した献立を基に、食材は国産の材料を使用し、旬のものを取り入れながら、園内調理で主食・汁物・主菜・副菜を揃えた完全給食を実施しています。

好き嫌いがあっても一口から食べられるように、調理方法にも工夫を凝らしています。

■ 食育活動

① 毎月19日を「食育の日」とし、親子で食べ物について話せる機会にできればと、旬の食材を使用した給食を提供。保護者には給食展示と共に掲示で旬の食材の栄養や調理方法について紹介しました。

② 焼き芋パーティー（園内食育イベント）

うさぎ組の子ども達が苗を植えてから、水やりをして育てたさつまいもを収穫し、そのさつまいもを使った焼き芋パーティーを開催しました。2, 3歳児はデッキで、0, 1歳児は別の保育室から窓越しに参加。おやつに焼き芋を食べました。

■ 離乳食への対応

中期食、後期食、移行食に分けて、毎月1回面談を行いながら保護者と連携をとりつつ、個々の発達状況に合わせた離乳食の提供をしました。

■ 食物アレルギー児への対応

食物アレルギーのあるお子さまは、医師の診断書・指示書に基づき、保護者と面談を実施した上で、除去食を提供しました。

■ 衛生管理

集団給食施設届出を美作保健所に提出しています。

また、事務員以外の職員は全員毎月検便を行っています。特に、10月～3月の感染症流行期にはノロウイルスの検便を実施しています。

7. 体調不良児保育

看護師1名（看護師産休・育休中は准看護師1名）を配置し、園児が保育中に熱を出すなどの体調不良となった場合、保護者のお迎えまで医務室または多目的室にて保育をしました。

新型コロナウイルス感染防止の為、緊急事態宣言期間中を含む4月から9月は

37. 5℃以上の発熱が認められた場合は、すぐに保護者にお迎えをお願いし、体調不良児保育を実施しませんでした。しかし、感染者数の減少や仕事の都合でどうしてもすぐにお迎えに出来ない状況が増えたことも総合的に勘案し、10月以降再開しました。

《 令和2年度 月別のべ利用者数 》 ※ 年間のべ利用者数 合計 49 名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用数	0名	0名	0名	0名	0名	0名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	7名	6名	6名	8名	13名	9名

8. 一時預かり保育

保護者が、病院通院や1週間のうち数日仕事をしなければならない、育児疲れのストレスが極度に蓄積している、多忙で少しでも自分の時間を確保したい場合など、一時的に保育が必要な時に、お子さまをお預かりしました。

また、年度当初転園先の保育園がまだ受入れできない状況の場合の一時預かりを実施しました。

しかし、新型コロナウイルス感染防止の為、在園児と違って日頃の子どもそして子どもの家族の体調管理の把握ができない為、11月以降は一時預かり保育の実施を中止しました。

※ 利用登録者数：家庭数8 / 子ども 9名

《 令和3年度 月別のべ利用者数 》 ※ 年間のべ利用者数 合計 125名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用数	6名	0名	27名	24名	23名	24名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	21名	0名	0名	0名	0名	0名

9. 園庭開放

子育て中の親子が気軽に参加でき、その場で、一緒に遊べて、親子共に友だちが出来る、保育士との会話の中で子育てに関する相談が出来る機会を創出したいという意志の下、昨年度まで園庭開放を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染防止の為、在園児と違って日頃の子どもそして子どもの家族の体調管理の把握が出来ないため、今年度は園庭開放を中止しました。今後は、感染状況を鑑みて再開を検討します。

10. 子育て相談

今年度は、園児の送迎を玄関ホールまでとしたことで、保育室の様子を保護者が見ることが出来なかったため、玄関のホワイトボードに各クラスのその日の活動を書いたり、活動写真を掲示し、保護者に伝えるよう工夫しました。

また、登園や降園の際に園児の様子を伝え、家庭での様子を聞く中で、気になった保護者や、相談を希望する保護者と、落ち着いた雰囲気のある場を設定して子育て相談を行いました。また、随時電話でも在園児保護者の相談対応を行いました。

実施回数：在園児保護者3名、合計のべ8名

場 所：相談室、職員室

内 容：「子どもの育ちについて」、「食物アレルギーについて」
「保護者の体調と仕事について」

11. 職員研修

保育分野、調理分野共に専門職としての自己研鑽に努める為、毎月1回の職員会議

を行い、保育実践の振り返りと評価を行い、保育の質の向上と職員全体の共通理解や意識の統一を図りました。

【園外研修】

月 日	研 修 内 容	主催・会場	参 加 者
8月26日	令和2年度保育所児童の人権を大切にす る研修会 演題「子どもと保護者への関わり方～平時 の子どものころ、有事の子どものころ ～」 講師：山陽学園短期大学 村中由紀子名誉教授	(主催) 岡山県 (会場) きらめきプ ラザ	川上主任
8月19日 ～20日	次世代園経営者セミナー2020 ①「二宮尊徳に学ぶ生き方」 ②「子どもをとりまく環境を考える」 ③「これからの時代に必要な園の魅力と は」 ④「ヒトの発達の謎を解く」 ⑤「地域社会と連携・共存する園づくり」	(主催) (株)ジャク エツ (会場) We b	園長

	⑥「無償化時代の幼保業界に必要な採用戦略とは」		
9月11日	令和2年度給食施設管理者・従事者研修会 ①「新型コロナウイルス感染症の対策について」講師：美作保健所勝英支所 保険課 藤田順子主幹 ②「給食施設の衛生管理」講師：美作保健所 衛生課 食品衛生班 松本氏 ③「給食施設の栄養管理～日本人の食事摂取基準2020年版を活用して～」講師：川崎医療福祉大学 小野章史教授	(主催) 岡山県美作保健所 勝英支所 (会場) 作東バレン タイムプラザ	園長
12月15日 ～2月15日	令和2年度 企業主導型保育事業 保育安全研修 ●企業主導型保育施設の安全・安心な運営について ●保育施設等におけるアレルギー対応 ●子どもの予防接種と感染症対策 ●保育施設等における事故防止の取り組み・事故発生時の対応・再発防止の取り組み ●乳幼児期の発達と事故予防 ●保護者とのコミュニケーション	(主催) (公財)児童育成協会 (運営委託 (株)ベネッセスタイル ケア) (会場) Web	山本副主任 他保育士7名 看護師1名
1月14日	令和2年度岡山県認可外保育施設保育従事者研修 ●認可外保育施設に対する指導監督の実施について ●特定教育・保育施設における事故の報告等について ●事故防止・事故発生時の対応 ●重大事故再発防止のための事後的な検証	(主催) 岡山県(運営委託(株)ニチイ学館) (会場) おかやま西川原プラザ	園長
11月16日 ～3月20日	令和2年度企業主導型保育事業施設長研修 ●施設長の責務 ●保育施設等のマネジメント ●保育所等の社会的役割	(主催) (公財)児童育成協会 (運営委託 (株)ポピン	園長

	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者支援・子育て支援で心すべきこと ●子どもの発達と保育の内容 ●保育所における感染症対策ガイドライン ●教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応の為のガイドライン ●保育所における食事の提供ガイドラインの理解 	ズ) (会場) W e b	
--	---	---------------------	--

【園内研修】

月 日	研 修 内 容	講 師	参 加 者
8月11日	危険予知訓練	川上主任	職員10名
12月19日	児童虐待研修 <ul style="list-style-type: none"> ●虐待対応マニュアルについて ●不適切保育について 	川上主任	職員8名